

募集要項

世界を舞台に活躍するのに必要な“国際力”を日本の将来を担う高校生に身につけてもらうことを目的に、英語エッセーコンテスト「考えてみよう。世界のこと、日本のこと」を実施いたします。グローバル社会を生きてゆくためには、広い視野で国際的事象を考察・分析することが必要です。そのためには可能な英語力を身につける学習は欠かせません。世界や身の回りで起きているさまざまなことについて、あなたが思う自由な考えを、英語で表現してみませんか。個性豊かな作品をお待ちしています。

メインテーマ 「考えてみよう。世界のこと、日本のこと」

- 募集部門 《一般部門》世界で起きていること、普段の生活での身近な出来事などについて、あなたの考えや思うことを自由に英語エッセーとしてまとめてください。
- 《海外経験部門》海外の人へ伝えたい日本について、あなたの考えや思うことを自由に英語エッセーとしてまとめてください。

(参考)過去受賞作品タイトル

第1回	「The Screaming Eyes」
第2回	「Eco-life, Little by Little」「Stepping Out of Our Own Bubble」
第3回	「Reed in the Storm」「On Living in Peace」
第4回	「"Hiroko-chan"」「Speak Up Japanese!!」
第5回	「Going Green」「Words from my grandmother」
第6回	「Using the Time We Have」 「To be or not to be Japanese: that is not the question」

- 応募資格 原則、英語を母国語としない高校生とします。
- 《一般部門》海外経験部門に当てはまらない高校生
- 《海外経験部門》英語圏の海外の小中高で1年以上の在学経験がある高校生

- 応募方法 上記テーマで英文300～400words程度のエッセーとしてまとめてください。未発表で、本人のオリジナル作品に限ります。
- 《個人での応募》専用応募用紙(中面)に必要な事項を明記の上、ご送付ください。
- 《団体での応募》人数分の専用応募用紙(中面)に、別紙の団体応募用紙を添付の上、ご送付ください。多数の応募が予想されますので、審査の都合上、各団体で選抜してご応募いただければ幸いです。ご協力よろしくお願いいたします。
- ※引用が必要な場合は、必ず“ ”を使用して引用元を文末に明記するように願います。他の著作物やインターネットなどからの無断引用は、原文そのままでない場合も主催者側の判断により審査対象外にさせていただきます
- ※応募の際、専用応募用紙はA3用紙1枚でご送付ください。A4用紙等への変更はご遠慮ください
- ※専用応募用紙と団体応募用紙は下記アドレスからも入手できます

<http://www.yomiuri-osaka.com/essay/>

- 送付先 〒539-0027 大阪市北区野崎町5-9 読売新聞大阪本社広告局「高校生英語エッセーコンテスト」事務局

- 贈賞 《一般部門》
- 【最優秀賞】1点 賞状、図書カード3万円分
- 【優秀賞】3点程度 賞状、図書カード1万円分
- 【努力賞】5点程度 賞状、図書カード5千円分
- ※作品は返却せず、著作権は主催者に帰属します ※各贈賞数は変更する場合があります
- 《海外経験部門》
- 【最優秀賞】1点 賞状、図書カード3万円分
- 【優秀賞】1点程度 賞状、図書カード1万円分

- 募集締め切り 2015年9月11日(金)必着
- 審査 《審査基準》・文章力……英語の文法や言い回しがきちんとできているか。
- ・印象度……インパクトのある題材・ストーリーであるか。
- ・表現力……独自の視点を持ち、個性豊かに表現できているか。
- ※上記審査基準をもとに厳正な審査を行います

- 入選発表 2015年11月頃 読売新聞大阪本社版朝刊、ジャパン・ニュース紙上
- ※入選者のみ直接通知いたします

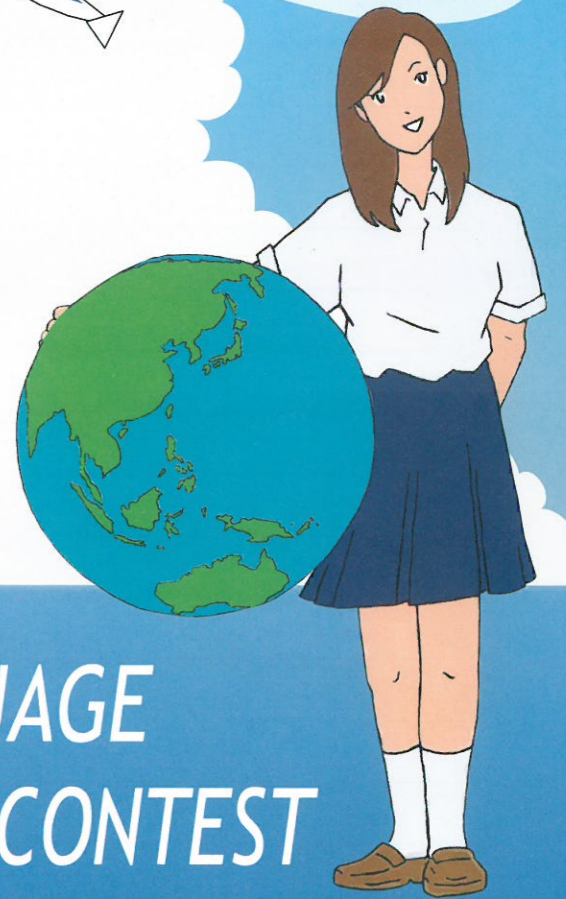
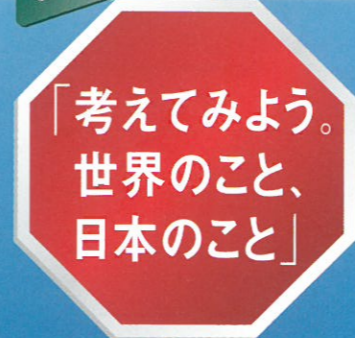
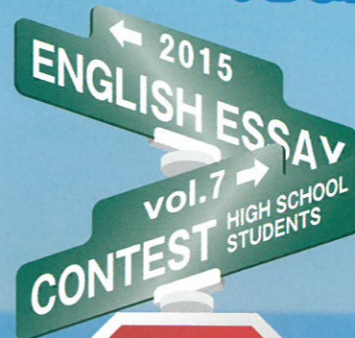
- 問い合わせ先 読売新聞大阪本社広告局「高校生英語エッセーコンテスト」事務局
- TEL06-6364-9005(平日10:00～17:00)

中面が専用応募用紙になっています

第7回 高校生英語エッセーコンテスト



グローバル社会で活躍したい。そんなあなたの夢を応援します。



ENGLISH-LANGUAGE ESSAY WRITING CONTEST FOR HIGH SCHOOL STUDENTS.

KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY x YOMIURI SHIMBUN x THE JAPAN NEWS

英語エッセー基本構造

日本語の起承転結とは異なり、「結論→根拠(理由説明)→再び結論」というスタイルが基本です。まず結論、即ちこのエッセーを通してあなたが一番伝えたいこと(意見、主張)から書き始めることを心がけましょう。

- 1. 導入(Introduction) : トピックを選んだ理由や、エッセーを通じて伝えたい自分の意見(結論)を明確に提起します
2. 本論(Body) : 一般的な情報、自分の意見(結論)の根拠を述べます
3. 結論(Conclusion) : 今まで述べたことの要約と、自分の意見(結論)を繰り返します

《専用応募用紙》

TITLE

Multiple horizontal lines for writing the title and main text.

▼下記の各項目に大きくはっきりとした文字でご記入ください(日本語で記入)

Form fields for name (surname, given name, gender), title, application type (individual or group), and department (general or international).

Form fields for home address, contact telephone number, school name, grade level, and location (prefecture).

※引用が必要な場合は、必ず“ ”を使用して引用元を文末に明記するように願います。他の著作物やインターネットなどからの無断引用は、原文そのままでない場合も主催者側の判断により審査対象外にさせて頂く場合があります